



主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第2回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第2回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、今回はあわせて47名が参加。

第2回は、「やるべき“協働”を考える」、「“市民自治”を知る」が目標でした。「課題を解決するために市と市民と一緒にやれることを見つけよう！」をテーマに、「新しい公園を作ろう！」を題材にして、自分がやれることから自分たちがやれることを、多方面から考えてもらうことで、市民自治の必要性を感じてもらいました。

開催日時：令和4年11月24日（木）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 条例策定検討委員会の委員からの情報提供
「磐田市の現状とこれから」～人口減少社会の今後を自分ごとにする～
- 自己紹介
- 話し合い「自分の関わりから自分たちの関わりに（ワーク：新しい公園を作ろう!）」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子





これ以下、各グループの模造紙

A

計画

- 他所の公園を調べる
- どんな公園か、どこか、アートを取る
- 公園の名前をぼかす
- 木を植える
- 自給花だんをつくることを目指す

維持管理・つる

- イベント企画
- 多休遊具 砂場
- 動物管理(草刈り、お足洗、おやつ)
- 動物の中心にある広場を制作
- 遊具を遊ぶための足跡をのこす
- 地元の木材を使って、おもしろ遊具をDIY!!

使い楽しむ

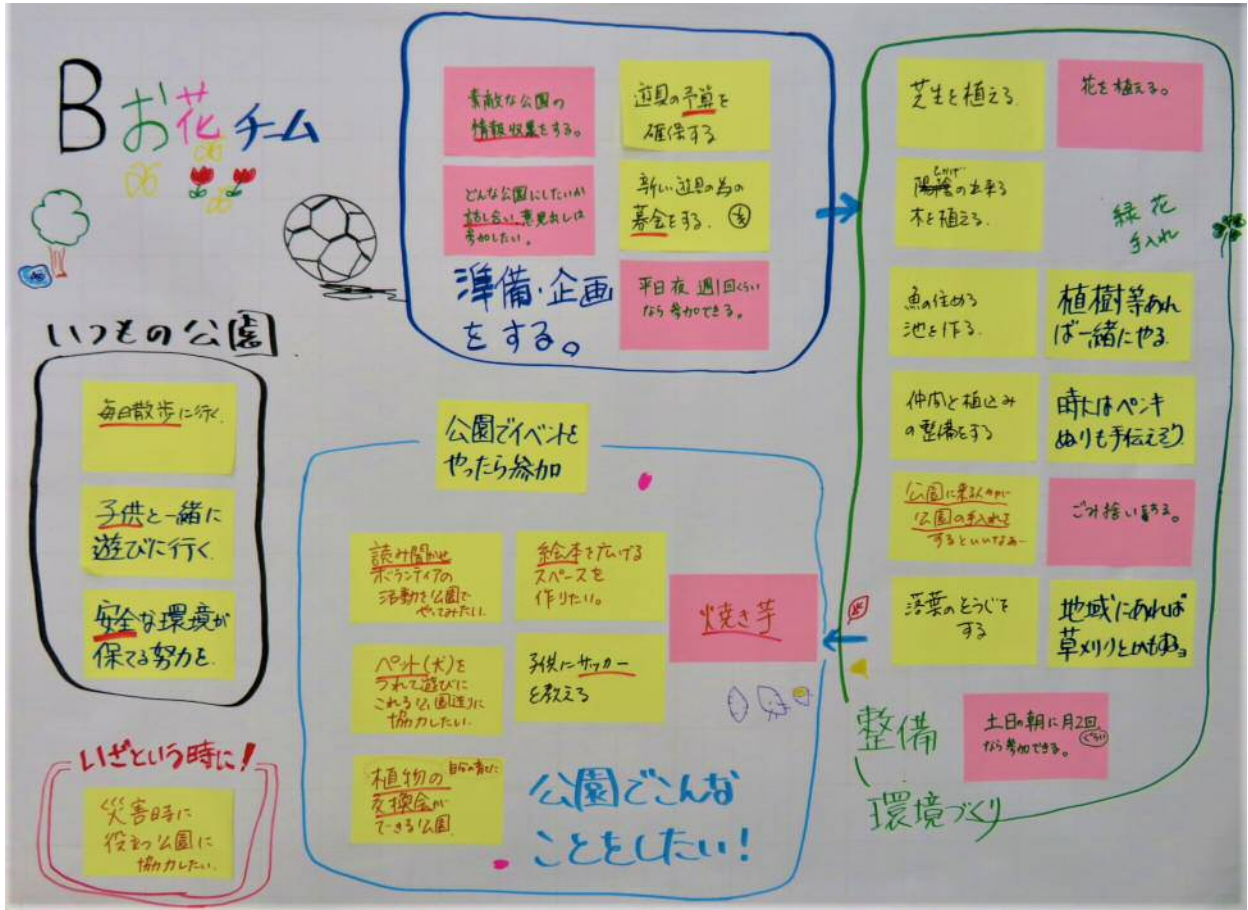
- 新しい公園を楽しむ
- 夕陽の趣き 楽しむ
- 着入る命の楽に 楽しむ
- エンターテインメント 楽しむ
- 自然の作り出す 楽しむ
- 遊具の活用
- 自然の活用
- イベント
- 新しい公園の 活用(イベント) 企画して楽しむ

PR

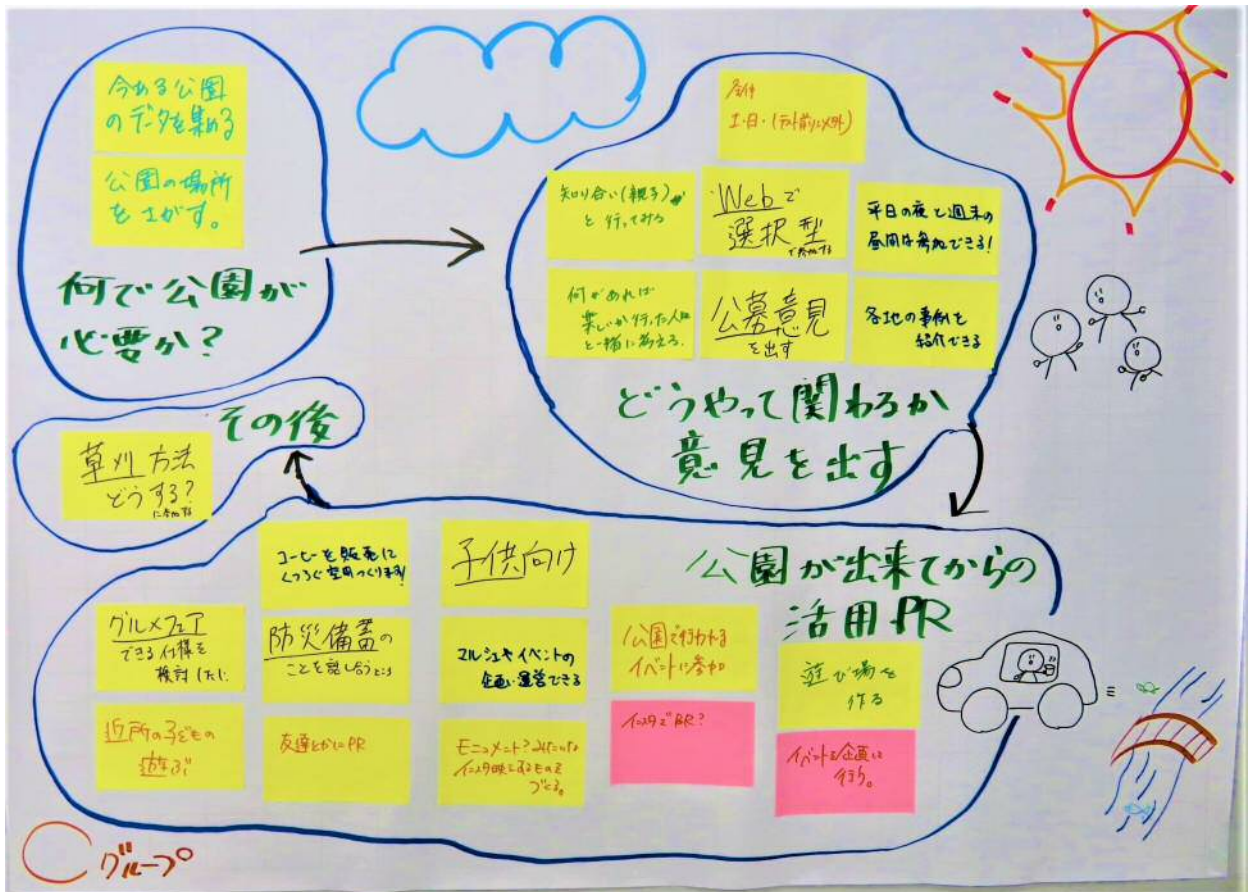
- 新しい公園を PRする(写真)
- SNSなどで 発信!

A 到着を 待たせよう

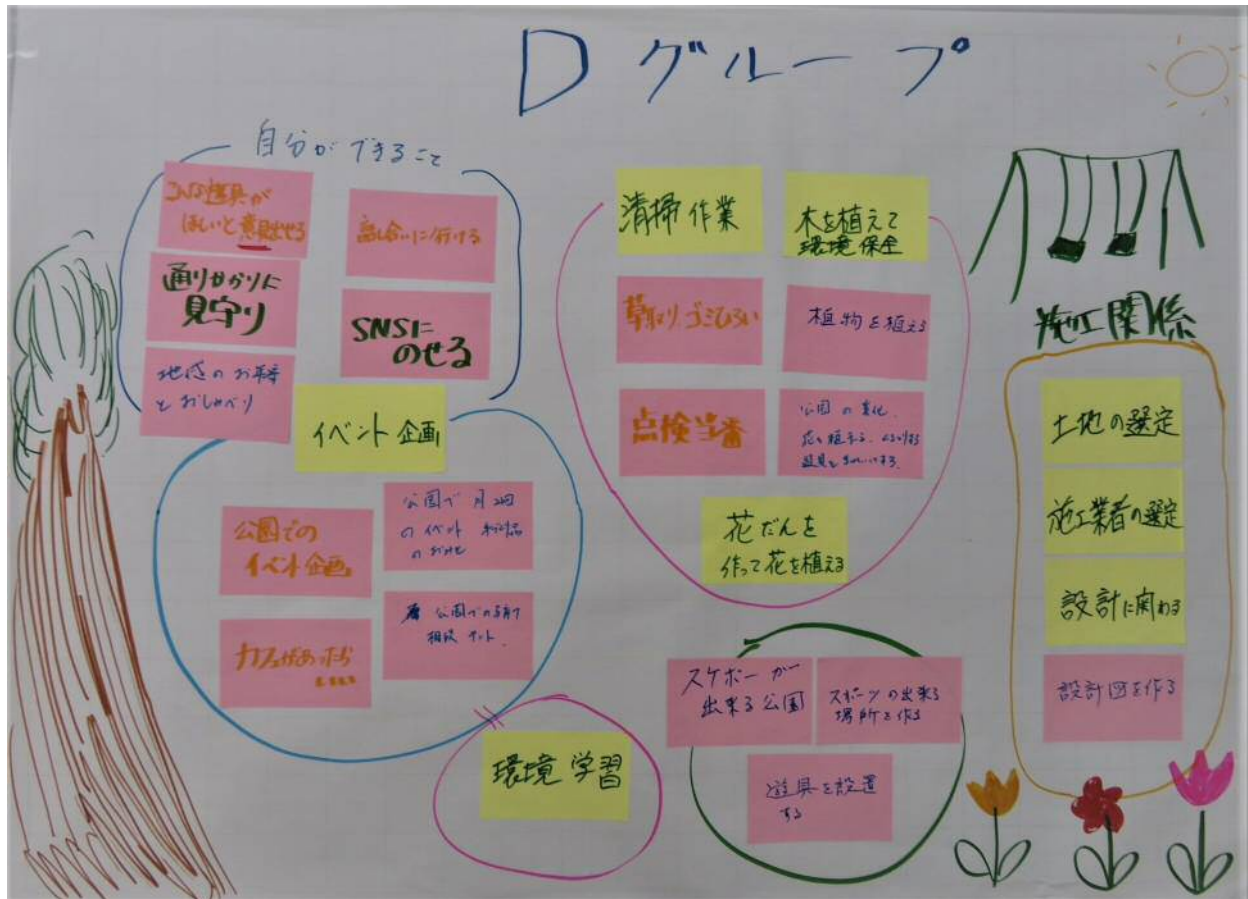
B



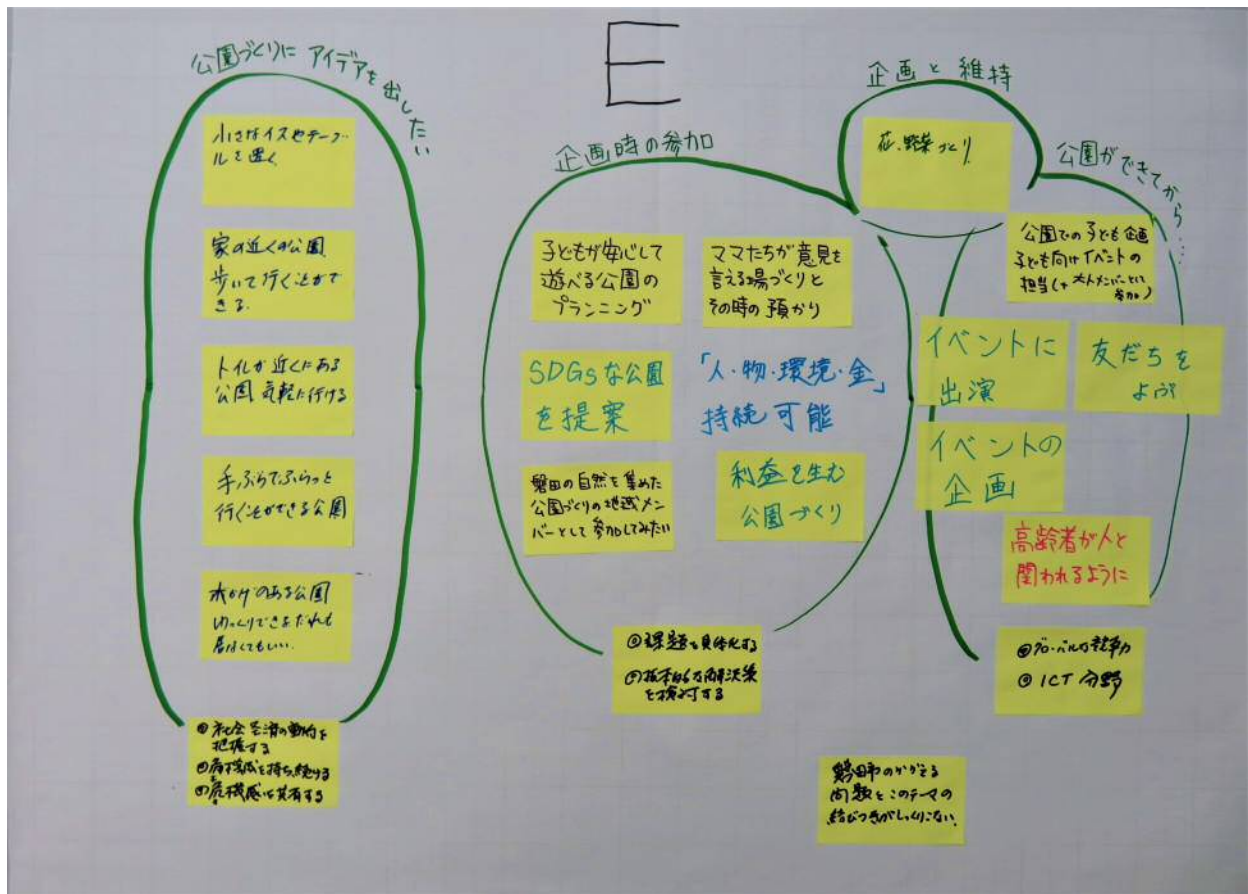
C



D



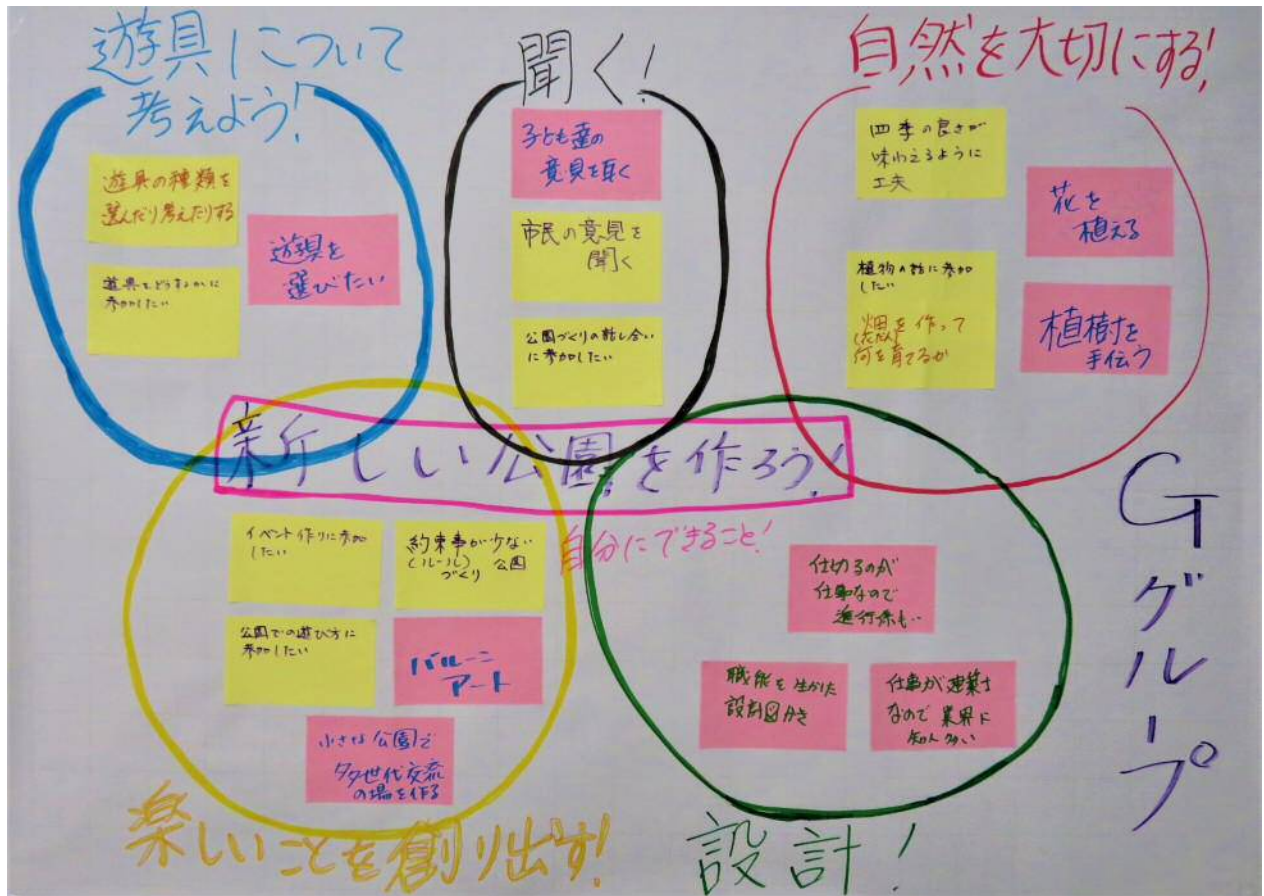
E



F



G



H

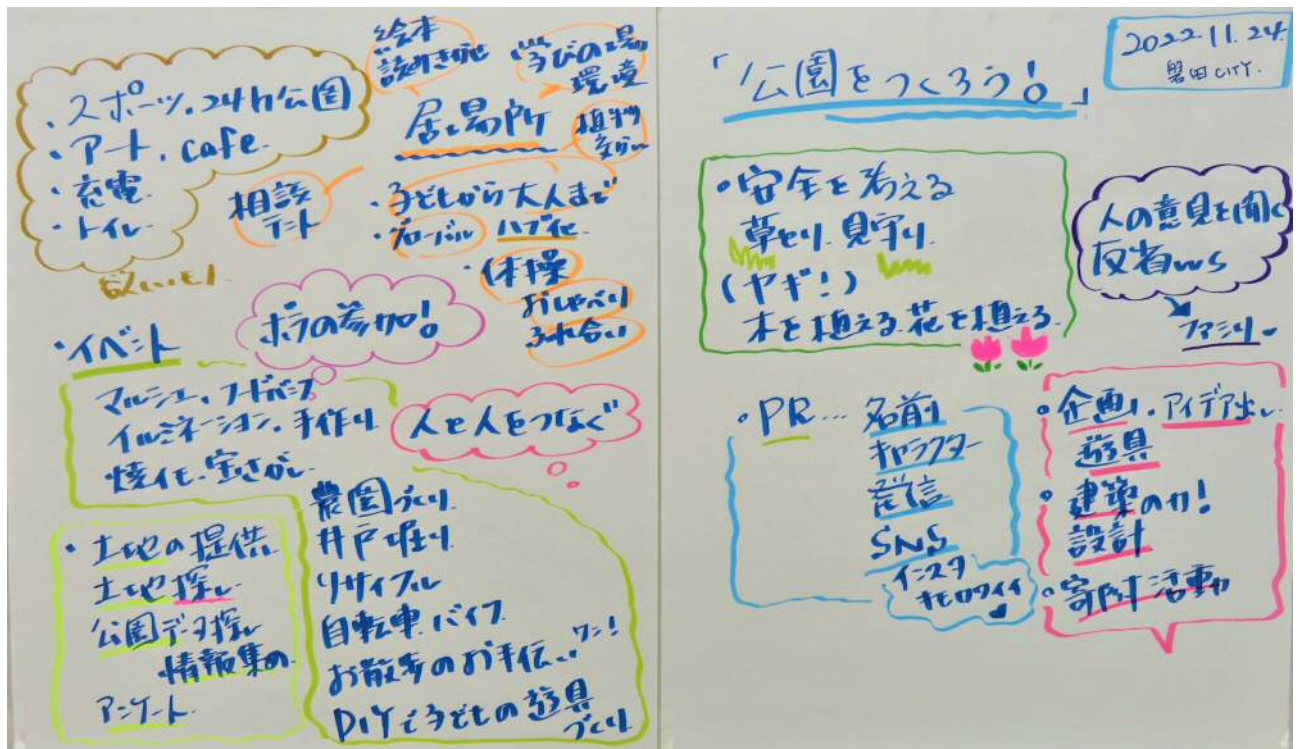


I





ファシリテーターによるまとめ



4 今後について

令和4年12月22日（木）10時から、第8回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催し、第2回いわたまちづくりワークショップの振返りをを行います。

第3回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時：令和5年1月26日（木）19時～21時

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ2階ふれあい交流室

開催概要：目 標；「市民参加の意識を広げる」、「今回の関わりこそが“市民自治”と感じる」

テーマ；「対話を重ねることの必要性を考えよう！」

情報提供；「市民活動センターの役割」（条例策定検討委員より）

話し合い、発表、まとめ

事務局：磐田市地域デザイン推進室

